

「日吉中学校開校のころ」 2回生 境 富夫

… 当時（注：昭和22年）の日記より …

ふるさとの思い出といえば、やはり母校でのごとがほとんどです。
実に早いもので、当時国民学校と高等科が、新制中学になるということで私たち生徒は本当に喜んだものでしたが、あれからもう20年なのでから…。

（注：昭和22年4月1日 日吉小中学校と校名を変更する。）

中学1・2年生授業開始する。2学級編成、2部授業実施。

「日吉小学校80年史」

終戦後間もなくのこととて、すべての面で不自由な時代であり、単に2年制の高等科が3年制の中学校に変わったというだけでなく、開校までの父兄、先生方、部落、村当局の方々のお骨折りは本当に大変だったことと思います。（略）
記念誌に何かと求められましたが、改まったものも書けませんので、古い日記帳から當時を綴ってみたいと思います。

昭和22年4月1日（火）曇り

いよいよ僕も中学2年生に無試験で進級したことになる。今日は入学式と始業式。例年のことながら新しい1年生を迎えるにぎやかなことだった。その後、掃除を済ませ、先生のお話を聞く。中学の授業は午前と午後に分かれているそうで、月金は1年が午前中授業、2・3年生は午後。火木土はその反対になるわけだ。教室が不足しているため2部授業というのだそうだ。14日からは3年生も来るとか。日吉中学校は1年及び2・3年の2学級編成で発足というわけだ。

4月9日（水）雨

今日は午前中まき割り。9時頃から雨降りとなる。

午後登校、1校時音楽、森田重臣先生が来る。2校時算数、3校時国語、4校時体操だった。3校時の始まりに、新しく来られた山本文雄先生の着任のあいさつがあった。英語の先生だとか、紺の詰めえりに蛇腹のついた服で、海軍の下士官の服だとか、いかにも馬力のあるような先生だ。

4月18日（金）晴れ、曇り

今日は午後登校。1. 2校時外のごみ掃除、3校時校長先生のお話、4校時読み方。佐藤豪先生と山本先生は、今年新しく赴任される佐藤清三郎先生をお迎えに、昨日から出かけているそうで、明日着任なさることである。

5月1日（木）雪、曇り

朝から雪が降り、また冬に逆もどりである。

1校時は校長先生と実習地のことで相談、2校時は新しく来られた佐藤建作先生の着任

式、僕たちの担任である。これで昨年の星先生に次いで担任の先生が決まったことになる。
3校時は佐藤清三郎先生の国語、4校時は山本先生の体操。帰りに若原さんよりタバコの配給を受けて来る。

5月10日（土）晴れ

今日は午前授業。学校の畑起こしのため、鋤を持って登校する。女子は豆がらやキビの根を片づけ、男子は平起こしをする。土が硬いのと石まじりで大変だった。今日から北見・常呂間のバス開通する。ひと冬見なかったバスの姿に皆歓声をあげる。このバスで佐藤清三郎先生のお家の方が来られた。

5月25日（土）曇り

昨日の農繁休暇も終わり、今日から授業が始まる。1校時公民、2校時英吾、3校時体操、4校時音楽。今日から音楽の時間は佐藤よし子先生が来る。なかなかでっぴりと貫くのあるママさん先生だ。これでこの学校には、佐藤正志校長先生のほか4人の佐藤先生が揃ったことになり、間違うのでお名前を呼ぶことになる。午後、小学5・6年と中学2・3年との野球試合をする。グローブが足りず、外野は素手だ。

5月30日（金）曇り

今日は2時間授業。あとは2日の開校式の準備をする。1・2年生の教室の式場作りと一部のものは校庭の免凍薯（注：上の3文字不正確）をひっくり返し、乾いたものは俵に詰めて農協の倉庫に運ぶ。まだ乾いたのが少なく、甘ずっぱいようなにおいが一面ただよっている。

6月2日（月）曇り

いよいよ開校式。朝から部落の人や役場の人たちがたくさん来る。校長先生のお話、来賓の方、山本部落会長さんからの祝いのお言葉と生徒代表伊藤和也さんのお礼の言葉などがあり、式を終わる。本当に中学生になったのだなあと思う。最後に紅白のもちをもらって帰る。

6月9日（月）雨、曇り

1校時英語、2校時国語、3校時公民、4校時体操、帰りに男子は帽子につける白線をもろう。昨日ようやく買ってきたそうだ。まだ帽章が決まっていないので白線だけつけることにする。2本の白線と同じ幅の広さにつけるのは一寸面倒で、何回もつけなおす。

6月11日（水）晴れ

朝から運動会の練習をする。いつも運動会の頃になると憂うつになる。はるかかなたに友の軽やかな足さばきをにらみながらドンジリを走ることの情けなさは、言いよつてくやしさがどうにもならん。この走る競技さえなければ運動会ももっとすばらしいのだから…。

今日、待望の帽章をもろう、といっても、皆家から持ってきた白い布に「日中」の文字

を図案化した「はん」を押してもらったもの。

帰って、布の裏側にその大きさの厚紙を入れ、縫い合わせてつける。これで立派な中学生である。やはり、うれしいものだが一寸面はゆい気もする。形だけができたので、これから大いに中学生らしい勉強をしなければと思う。

（注：日吉小学校の校章に関する記録は、平成元年発行の「日吉小開校80周年記念学校沿革詳細」に「日吉小学校の校章制定（昭和25年頃）桂の葉を図案化」の記述がある。日吉小中学校の校章と日吉中学校の帽章が同じであれば、この時に制定されたことになり、違うのであれば、校章よりも早く日吉中学校の帽章が制定されたことになる）

『日吉小学校60周年・日吉中学校20周年記念誌』

（昭和42年11月発行）掲載